

学内留学!? グローバルゾーン Porte(ポルト)

最近では海外研修を行う中学や高校も珍しくなくなってきたので、参加したことがある人がいるかもしれません。家族旅行で海外に行ったことがある人もいるでしょう。または外国なんて行ったこともないという人もいますでしょう。

いずれにせよ、親の仕事の関係でアメリカに住んでいた、シンガポールで小学校時代を過ごしたとか、親が外国人だとかいう人でもない限り、外国へ行く、とか、外国語を使う、というのはちょっとハードルが高いですね。

2015年9月、甲南大学のグローバルゾーン Porte(ポルト)はそういう人のために生まれました。Porteというのはフランス語で扉という意味です。この扉を開いて世界に飛び出して活躍してほしいという願いをこめて名づけられました。

ここには世界各地から留学生が集まっています。ちょっとおしゃれなオープンカフェのようなスペースです。学生は留学生と気軽に英語でコミュニケーションしたり、ゲームをしたり、ランチを食べたり、コーヒーを飲んだりしています。また毎日いろいろなイベントが開かれます。ときには留学生がギターを弾いて歌ったり出身国の事情を説明したり、ゲストや先生方が英語で講演したり、活気のある楽しい場になっています。



また留学生はチューターとして外国語を教えてくださいが、海外留学から帰ってきた甲南大学生もアシスタントとして、コミュニケーションのお手伝いをしています。外国語の先生も毎日交代でサポートしています。英語にまったく自信がなかった人もひんぱんに通って、驚くほど上手にしゃべれるようになったりしています。



Seeing is believing.

百聞は一見にしかず。ぜひ遊びに来てくださいね！

甲南大学 学長補佐・国際言語文化センター教授
伊庭 緑

